

校歌を漢詩にしてみました！

先週、普通科2年次の「古典 A」（選択者21名）の授業で、それまでに学んだ漢詩の知識を生かして、邑久高校の校歌を漢詩にしました。班に分かれて分担し、「七言絶句」の漢詩になるよう、一句が七字の漢字になるよう意味を考え、返り点を入れて読んでいきました。

一番大変だったのは、押韻です。七言絶句の漢詩では、第一句・第二句・第四句の末を同じ音にしますが、ちょうどよい漢字を見つけるのに辞書で調べたり意味を考えたりと苦労しました。各班で作った漢詩を発表し、それぞれの班の良い所を合わせ、さらに押韻が中国の発音で揃うように調整し、完成したのがこちらです。

コロナ禍で校歌をみんなで歌うことが難しい昨今ですが、漢詩の知識を定着させるとともに、校歌への理解と愛着も深めることができました。

校歌の「漢詩バージョン」を作成しました！
 （普通科2年次「古典A」選択者による共作）

1 千 町 野 辺 吹 風 清 学 舎 高 薨 朝 光 映	2 南 大 雄 岳 緑 色 淵 仰 見 希 望 空 遥 遠	3 明 暮 励 我 等 学 園 張 歡 喜 滿 溢 於 此	4 自 由 民 主 鐘 音 響 明 行 世 紀 使 命 強	5 高 鳴 生 命 翳 於 此 築 文 化 我 等 故 郷	6 互 磨 合 此 身 此 精 若 人 我 等 集 於 此
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

岡山県立邑久高等学校 校歌

1 千 町 の 野 辺 に 風 は さ や け く 高 き い ら か に 映 ゆ る 朝 光	2 南 雄 岳 み ど り 色 濃 く 仰 ぐ 希 望 の 空 は は ろ け し	3 明 け け れ 励 む 我 等 が 学 舎 み な ぎ る 歡 喜 こ こ に あ ふ れ て	4 自 由 民 主 の 鐘 高 ら か に 明 け ゆ く 世 紀 の 使 命 は 重 し	5 高 鳴 る 命 こ こ に か ざ し て 築 く 文 化 の 我 等 が 郷 土	6 若 人 我 等 こ こ に つ ど い て か た み に み が く 此 の 身 此 の 魂
---	---	---	---	---	---

〔言葉の意味〕

①「千町」千町平野
 ②「さやけし」澄みきっている。清くすがすがしい。
 ③「いらか」屋根の棟がわらわ。
 ④「映ゆ」うつりあって美しく見える。
 ⑤「光（かげ）」光
 ⑥「かたみに（互に）」互いに。
 ⑦「南雄岳」南にある大雄山（大賀島寺がある）
 ⑧「はろけし」（はるけし）の音便）遠く離れている。
 ⑨「みなぎる」満ちあふれる。
 ⑩「明けくれ」夜明けと夕暮れ。日常。毎日。

1 千町平野に風がすがすがしく吹いて、高い屋根の瓦には、美しく映っている朝の光。若者である私たちがここに集まって、互いに心身を磨き合っている。

2 南にある大雄山の緑が色濃くなって、仰ぎ見る希望のように、空は遠く広がっている。満ちている歓喜がここにあふれて、夜明けから夕暮れまで毎日励む、私たちの学舎。

3 自由民主の精神を告げる鐘が高らかに鳴り、明けてゆく新世紀を担う私たちの使命は重い。高鳴っている命をここにかざして、築いていく文化の地が、私たちの故郷である。